

2017.9 vol.57

tag

たっぐ

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



Let's learn English and discover the world!

楽しく英語を学んで、はばたけ世界へ!



今回は小学生のクラスにおじゃましました

和気あいあいと、リラックスした雰囲気です。



オリジナルの教材も使います

子どもたちからは「楽しい!」との声も。

子どもの成長に合わせた英語指導と世界でも通用する人材の育成を目的に活動している「多賀城イングリッシュ・サポーターズ (TES)」。市内で英会話教室を開いていたノウハウを活かして新たに団体を立ち上げ、今年4月に「TES英会話教室」の活動を始めました。未就学児から大人まで6つのクラスがあり、現在約30人の生徒のみなさんが楽しく学んでいます。

活動中はできるだけ英語でコミュニケーションをとっており、うっかり日本語が出てくると「in English (英語で)!」という声が高らかに飛んでくることも。英語を学ぶことで英語力が身につくのはもちろん、世界のさまざまな文化を知ることによって視野も広がります。「生徒のみなさんには英語というツールを使って、どんどん世界への視野を広げてほしい」—代表の板垣章子さんはそんな想いを抱いて活動に取り組んでいます。

TES 英会話教室 (会場:たがさぼ)

- 📅 火曜日: 小学生・中学生
- 📅 木曜日: 小学生・高校生・大学生・一般
- 📅 土曜日: 未就学児・小学生

Web ページ、Facebook もご覧ください

※詳しくは、090-2889-1990 (七島) までお問い合わせください



イラストを見ながら単語の発音練習



こちらは高校生のクラス

生徒同士でも英語で話しながら、会話のコツを身につけます。学んだことを活かして「いつかホームステイしたい」「将来英語を使う仕事につきたい」とお話ししてくれました。

多賀城 TES

検索



ヒント from “たがさぼ Press”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● **地域活動・NPOの「負担感」を減らすには?** 2017年7月18日(火) 掲載
活動を負担に感じる時の数式「t(つらい&つまらない) > a(ありがたい)」。不等号を逆向きにするために必要なことは?

● **子どもたちに笑顔を届ける「ヘアドネーション」** 2017年7月20日(木) 掲載
寄付された髪の毛でつくった医療用ウィッグを、がんなどの病気で髪の毛を失った子どもに無償で提供する「ヘアドネーション」に取り組む団体をご紹介します。

● **家でゲームもいいけど外遊びも楽しい!** 2017年8月3日(木) 掲載
「外遊びを再び日本の文化に」のミッションのもと活動するNPO法人ゼロワン。取り組みのひとつとして、チャンバラ合戦—戦IKUSA—を各地で開催しています。

“たがさぼ Press”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼ Pressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「やってみようボランティア」わたしの身近でできること

対象

高校生
大学生

参加者募集

「自分の好きなことを活かしてできることを探してみたい」「将来の進路につながる何かをやってみたい」そんな想いをボランティア活動で叶えてみませんか? この講座では、ボランティア活動をしている高校生・大学生の体験談を聞いたり、自分の好きなこと、取り組めることを整理できます。また、ボランティア体験ができるたがさぼのイベントもご紹介します。

日時	2017年10月29日(日) 午後1時~午後3時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター
参加費	無料
定員	15名(先着順/要事前申込)
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)



たがさぽフリースペースを活用しよう!

たがさぽの2、3階にあるフリースペースで、展示会やイベントなどを開催できることを知っていますか？
フリースペースの活用のしかたについて、これまでの企画事例とともにご紹介します。



フリースペースとは？

2014年4月のたがさぽリニューアル時に新しく設置されました。普段は予約不要・無料で、少人数での打ち合わせや事務作業などで利用者同士が譲りあいながら利用しています。また、企画を事前に出してもらい予約することで、市民活動や地域づくり、社会貢献活動に関する活動の紹介・発信や、公開での勉強会、ワークショップなどを行うことができます。2017年9月までに計27件の企画が実施されました。

活用して得られるメリット

企画終了後に行った聞き取りでは、「団体や活動内容について多くの人に知ってもらえた」「新たな人とのつながりができた」などのメリットが各団体から挙がりました。また、「イベントの進め方や展示について、たがさぽスタッフからアドバイスをもらった」など、イベント運営について学べた、という声もありました。このように、たがさぽのフリースペースを使った企画を立案、実施することで、団体のパワーアップを図ることができます。ぜひ、ご活用ください。



たがじょう IDAHO「IDAHOメッセージ展&レヅルプロジェクト」
「LGBT嫌悪に反対する国際デー（通称：IDAHO＝アイダホ）」（5月17日）に合わせて、5月に展示会を開催。たまたま通りかかり展示を見て、「LGBT」についてはじめて知ったという方も多かったそうです。

✓ 最近の活用事例をご紹介します!



さをりひろば余暇よか「さをり織り作品展およびワークショップ」
これまで4回、作品展示と織り機を持ち込んでのさをり織り体験を行っています。8月には、3日間の展示や体験を通して多くの方にさをり織りについて知ってもらうことができました。



IRIS「Tagajo Teen's Talk！」
今年活動をはじめた中高生の団体「IRIS」は、団体初のイベントをフリースペースで開催。4月と8月に、多賀城から連想されることがらを考えたり、お土産のPRポスターをつくるワークショップを行いました。



丘の上FM「公開収録会」
「丘の上FM」ではこれまで2回、自作のラジオ番組を録音したCDを制作しました。3月には、さまざまな人たちに関わってもらいきっかけとして、公開収録イベントを行いました。

フリースペースのイベント利用 Q&A

Q

どんな団体が利用できますか？

- 答え -

NPO、自治会・町内会、子ども会、生涯学習団体、学校などが使えます。また企業に関しては、社会貢献やCSRに関する活動でのみ、利用できます。

Q

どんな内容で使えますか？

- 答え -

展示会、講座、トークショー、ワークショップなどで使えます。ただし、運動・音楽のイベントや、営利目的での利用はできません。

Q

1回の企画で、何日くらい使えますか？

- 答え -

1日から、最大4週間まで連続で利用できます。なお、展示の場合、搬入及び搬出日も利用期間に入ります。



「tag」には、多賀城（tagajo）の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ（価値）をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします！
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>